

一番後は、O.B.の皆様にもご出席いただき、新年会を行い、最終年度になる今年の意気込みなどを熱く語って、盛り上りました。

会議の後は、O.B.の皆様にもご出席いただき、新年会を行い、最終年度になる今年の意気込みなどを熱く語って、盛り上りました。



まだ残暑の厳しい中、第一回全体会議を催しました。まず、京都の細見美術館にて、ロイヤルコペンハーゲンとビング・オーナンダールの磁器を見学しました。アールヌーヴォー期の作品で優しいフォルムと柔らかい色使いがとても素晴らしい磁器の数々で、眼の保養となり、優雅な時間を過ごすことができました。

その後、美術館最上階のお茶室「古香庵」にてお呈茶を頂き、さらに場所を「京料理 六盛」へと移し、昼食・全体会議となりまし



た。昼食には「手桶弁当」を頂き、終始楽しく和やかに談笑し、お料理に舌鼓を打ちました。

会議では行事報告や予定の確認、来年度新体制の報告などがありました。

小雨降る生國魂神社にて献茶式が行われ、永和・なにわ青年部合同で副席を担当させて頂きました。

今回の席は、お床には、坐忘斎家元筆扇面「五雲繞蓬萊」を掛けさせて頂きました。また、お茶杓には、鵬雲斎大宗匠作 銘 求心(ぐしん)を使わせて頂き、知新棚にておもてなしをさ

せて頂きました。

新青年部でも、心をひとつにして、さらに精進を重ねて参りたいと思いました。

永和青年部が発足した當時、青年部の活動の指針は『3つのS』でした。『3つのS』とは、『スタディ(修練)』『サーブ(奉仕)』『ストライブ(より高いものを求めて努力する)』を示します。これに基づき永和青年部でも沢山の趣向を凝らした行事を企画・開催しました。お茶会や小寄せ、手作り会(スタディ)、生國魂神社放生の神事での呈茶(サーブ)、ストライブとして国際交流茶会では英語での説明をみんなで勉強して臨み、お茶会では点心・お菓子、時にはお棚も一生懸命手作りし、懐石にも挑戦しました。機関誌「永和」も発行しました。

親先生方のご理解のもと、卒業された先輩方、残念ながら退会した方、今も継続している皆が、ひたむきに活動してきた歴史が永和青年部の誇りです。

この永和青年部で私も貴重な経験を積み重ねてこられたことを心から感謝しています。

小泉 由華

**西日鋼運輸株式会社**

1945年創業  
鋼材・重量物の専門輸送

本社: 大阪市住之江区平林北2-2-16  
電話: 06-4702-1600  
<http://www.nishinikko.co.jp>

**株式会社 白井商店**

東亜産業株式会社総代理店  
清水工業株式会社特約店

〒534-0025 大阪市都島区片町1丁目1番30号  
電話 06(6351)2105・3339番  
FAX 06(6352)8611

**株式会社 TSUN<sup>2</sup>**

TSUN<sup>2</sup> INC.  
空調設備工事・衛生設備工事  
〒599-8248 堺市中区深井畠山町 150-19  
TEL (072) 281-7720 <http://www.tsun2.co.jp/>

## 第一回全体会議と新年会

二月四日（土）すたんど割烹日本

## 生國魂神社献茶式 副席

十月二十八日（日）生國魂神社

## 永和の二十年を振り返つて